

大会開催時の規制エリア等に関する原則

今大会は、開催にあたり新型コロナウイルスの感染拡大防止を最大限防止することを前提に、戸田市及び周辺町会、周辺市民のご理解・ご協力を得て実施しています。下記に関わらず、大勢で連れ立っての移動や買物などは控えるよう周知徹底願います。

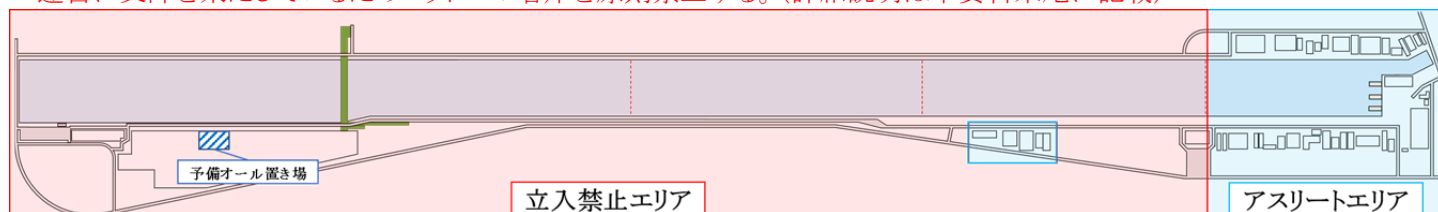
以下のルールを遵守することを了承のうえ、大会に参加ください。

ルールが守られず、悪質であると判断した場合には出漕停止を含めた当該関係者、クルー、団体に対する措置を検討します。

原則ルール

【I】全般に関する事項

- 本大会は無観客開催とします。
- 大会前2週間および大会中、必要以外の宿舎からの外出を控え、特に繁華街等には立ち入らないこと。
- 屋外でのレースの応援は禁止とする。
戸田に宿舎を持たない出漕団体との差をなくすため、艇庫敷地内においても同様とする。
- 水上の選手を除き、全ての選手・団体スタッフ等ボート関係者は、マスクの着用を徹底する。
- 以下のゾーニングを設定する。
 - アスリートエリア(会場内 2,000m 地点より東側)
ADを持つ選手・チーム関係者および大会運営以外のボート関係者の立ち入りを禁止する。
(周辺市民、一般公園利用者の通行は妨げない)
 - 立入禁止エリア(ボートコース 2,000m 地点よりスタート側)
運営関係者 AD・伴走許可 AD・撮影許可 AD のいずれかを持つ者のみ、立ち入ることができる(水上を除く)
(周辺市民、一般公園利用者の通行は妨げない)
- 大会開催期間中、選手・チーム関係者含むすべての大会関係者は、屋外では、水上を除き常に、AD を見えやすい場所に携帯・表示するものとする。
- 会場内に複数のゲート(テント)を設置し、毎日 AD の本人確認と検温等を実施し、日々の識別マークを貼付する。
- ピットに着岸した艇がスタート2分前になってもスタート位置につかず、イエローカードを受けるケースが頻発し、レース運営に支障を来しているためピットへの着岸を原則禁止する。(詳細説明は本資料末尾に記載)



【II】ADの配布対象及び枚数

ADの種類	配布対象
選手 AD(記名)	大会にエントリーした出漕クルー全員(補漕・補舵は含まない)。
チーム関係者 AD(記名)	各団体の規模にあわせ、下表※の通り、出場選手人数に応じて配布枚数を定める。
伴走許可 AD(無記名)	各団体一律 2 枚。選手またはチーム関係者 AD と双方の携行が必要
撮影許可 AD(無記名)	各団体一律 1 枚。選手またはチーム関係者 AD と双方の携行が必要

※各チームに配布するチーム関係者 AD の上限枚数

出場選手数	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~30名	31名~40名	41名以上
チーム関係者 AD 配布上限数	3 枚	4 枚	5 枚	6 枚	7 枚	8 枚	9 枚

- 大会開催期間中、選手・チーム関係者含むすべての大会関係者は、屋外では、水上を除き常に、AD を見えやすい場所に携帯・表示するものとする。
- 大会前々日(10月26日火曜日 13:00~17:00)~前日(10月27日水曜日 6:30~17:00)に、大会受付テント(公園管理事務所駐車場)にて事前 PCR 検査報告書と大会前2週間の健康調査質問票との交換で、チームごとに AD 一式・PCR 検査キット・プログラム等を交付する。
- 棄権等により出場選手数が変動した場合には、変動後の出場選手数に応じたチーム関係者数に合わせる。チーム関係者数が減少する場合には、その AD を速やかに本部に返却すること。

4. チーム関係者も含め、本人以外によるADの利用が発覚した場合には即座に当該ADを剥奪する。
5. チーム関係者とは、監督・コーチ・マネージャー等及び補漕のことを指す。
6. 陸上で伴走をする者は伴走許可ADを携帯・表示するものとする。伴走は1クルーに対し最大1名を原則とし、短いレース間隔に複数クルーが出艇する団体を考慮し、伴走許可ADを一律2枚発行する。
7. 撮影許可ADを携帯・表示することにより、競技エリア内の競技本部が指定した場所(定点)において、写真・動画等の撮影をすることができるものとする。各団体一律1枚配布する。
8. 別途大会運営補助員登録をした者には、上表とは別に大会運営関係者用ADを与える。

【Ⅲ】大会期間中の健康管理】

1. 大会開催期間中、ADを持つものは各開催日の最初にゲートテントに行き、検温を行う。確認が取れた者のADには、日ごとに色の異なるシールを貼付する。当日のシールがない場合、当該ADは無効とする。
2. ゲートテントは、下記の4ヶ所に設置する。
 - ①東京海洋大学横公園入口、②公園入口信号(東駐車場)付近、③大会本部東側2020m付近、④1600m付近

【Ⅳ】棄権・クルー変更等のID運用】

確定のタイミング	棄権	クルー変更
大会前日までに確定	受付時にADを配布しない	受付時に手書き対応にて正しいADに変更(変更前のADは配布しない)
大会中に確定	棄権の連絡後、直ちに棄権するクルー全員のADを大会本部に返却する	クルー変更を大会本部に申し出、変更前ADを返却、手書き対応にて正しいADに変更

【Ⅴ】敗退クルー等の運用】

レースに敗退し以降のレースが無くなったクルー・団体は、大会開催時間中(コース閉鎖から当日最終レースまで)宿舎から外出を控え、遠征団体のデリグ・梱包作業等を除き規制エリア内へ無用の立ち入りをしないこと。
使用目的が終わったADは各団体にて適切に廃棄すること。

【Ⅵ】アスリートエリア内に宿泊する団体に関する事項】(北岸の艇庫利用団体も同様とする)

1. 大会1週間前および大会中、アスリートエリアに入れるのはAD発行対象の選手・チーム関係者、大会運営関係者とし、他の者の宿舎立ち入り、宿泊等は認めない。
2. 大会に出漕する選手は、自レースが終了した段階でなるべく速やかに帰宅し、艇庫には宿泊しないよう努める。

【Ⅶ】ADの不正利用への対応】

ADを本人以外が利用する等の不正利用が発覚した場合には、当該ADを即座に剥奪する。

【Ⅷ】その他

- ・大会期間中(10月27日～31日)エリア規制は、コース閉鎖時間(レース1時間前)から最終レース終了までとするが、国立艇庫前広場のみ最終レース終了1時間後を目途とする(艇軽量・ドーピング検査のため)。
- ・エリア規制中は国立艇庫前広場への艇搬送目的の車両進入を不可とする。

【Ⅰ】全般に関する事項についての詳細説明】

8. ピットに着岸した艇がスタート2分前になってもスタート位置につかず、イエローカードを受けるケースが頻発し、レース運営に支障を来しているためピットへの着岸を原則禁止する。
 - 1. 一方、秋季開催の本大会においては天候次第で漕手の体温低下防止のためレース直前までウォームアップ用の着衣を必要とすることも事実である。この対応として、ピットの東端近辺(フィニッシュ側)にて待機するクルーの所属団体スタッフ(臨時通行AD保持のこと)に、団体名を明記したビニール袋(ゴミ袋、レジ袋など)に入れた衣類を手渡すことを認める。手渡した後、直ちに離岸すること。上陸して脱衣することは禁止する。
 - 2. 艇の故障修理のために競艇場ピットに着岸する際は、審判に申し出て許可を得ること。その際、上記1の着衣回収のためフィニッシュ寄りには着岸しないこと。着岸後は各団体の責任で修理し、終了後は速やかに離岸すること。主催者にてピット上に最低限の一般工具を用意する。
 - 3. 予備オールをスタート地点近傍の指定場所に各団体毎にスイープ・スカル各サイド1本のみ、最大4本までの予備オールを置くことを認める。指定置場:ピット南側通路のコース側に張り出たステージ上を指定する予定(図参照)
 - 4. トイレ等、止むを得ない理由でピットに着岸する場合は故障時と同様、審判に着岸の許可を申し出ること。発艇時刻5分前には必ず離岸すること。なお、舵手は舵手計量前に多量の水分を摂る行為は行わないこと。

以上